

木材需給動向について (北海道地区)

2023年5月
林野庁

全国の木材需給動向について、
林野庁ウェブサイト（下記URL）にて
毎月資料を更新しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/ryutsu/kyougikai.html>
（QRコードからもアクセスできます。）



さらに・・・

林産物に関するマンスリーレポート「モクレポ」
木材・木材製品、特用林産に関する最新の統計
データや、林野庁の施策に関するトピックス、セ
ミナー・イベントの情報などを取りまとめ、毎月
中旬に更新しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/toukei/monthlyreport.html>
（QRコードからもアクセスできます。）



目次

1 価格の動向

(1) 原木価格（原木市場・共販所）

ア スギ（全国）

イ スギその他（北海道地区）

(2) 製品価格

2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材（全国・北海道地区）

(2) 合板（全国）

(3) チップ（全国）

3 住宅着工戸数の動向

(1) 全国の住宅着工戸数

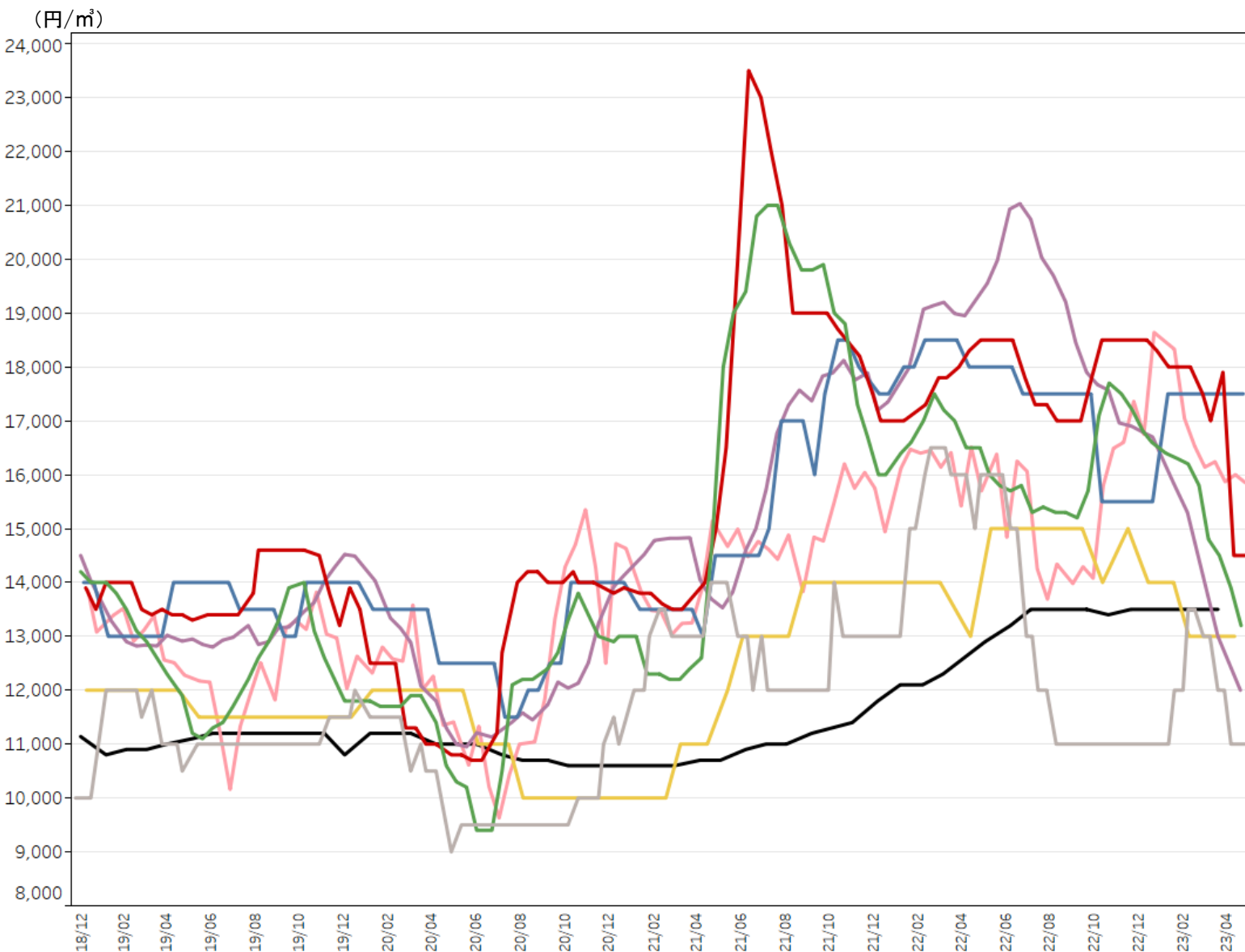
(2) 北海道地区の住宅着工戸数

4 木材輸出量

1 価格の動向 (1) 原木価格 (原木市場・共販所)

ア スギ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2018年12月~)

- 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、11,000円~17,500円/m³となっている。



(単位：円/m³)

都道府県	2023年直近*	前年同期	前年同期比
北海道	13,500	12,600	107%
秋田県	12,000	19,240	62%
栃木県	15,850	15,700	101%
長野県	13,000	13,000	100%
岡山県	11,000	16,000	69%
高知県	17,500	18,000	97%
熊本県	14,500	18,500	78%
宮崎県	13,200	16,500	80%

※北海道については3月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については4月の値を使用。

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

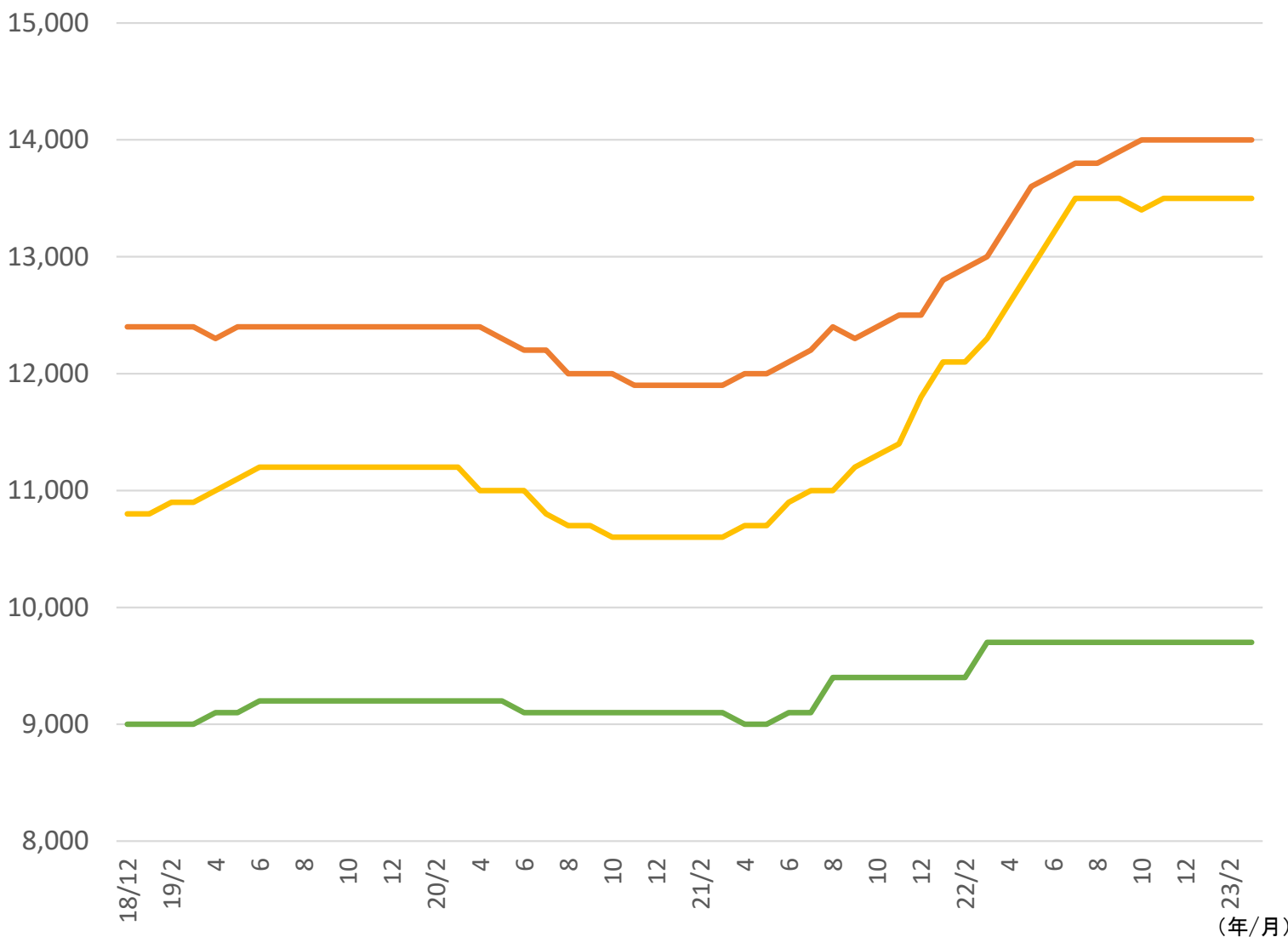
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

資料：林野庁木材産業課調べ

イ スギその他（北海道地区） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

- トドマツ、カラマツ、スギについて、2020年以降のコロナ禍による原木価格下落から回復し、その後も価格が上昇。現在も高い水準で推移。

原木市場・共販所における木材価格の推移



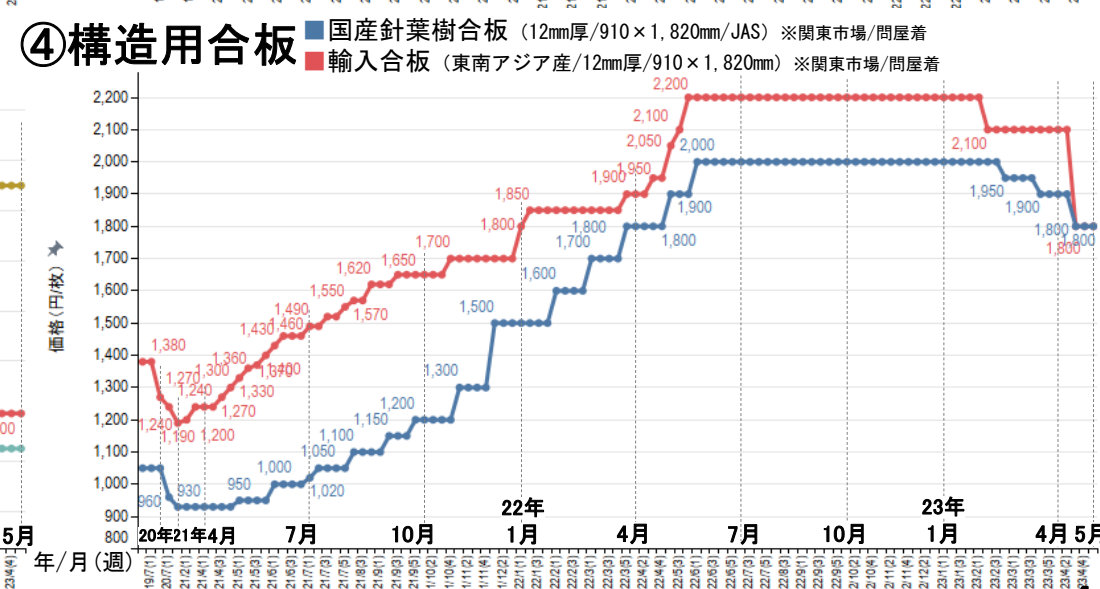
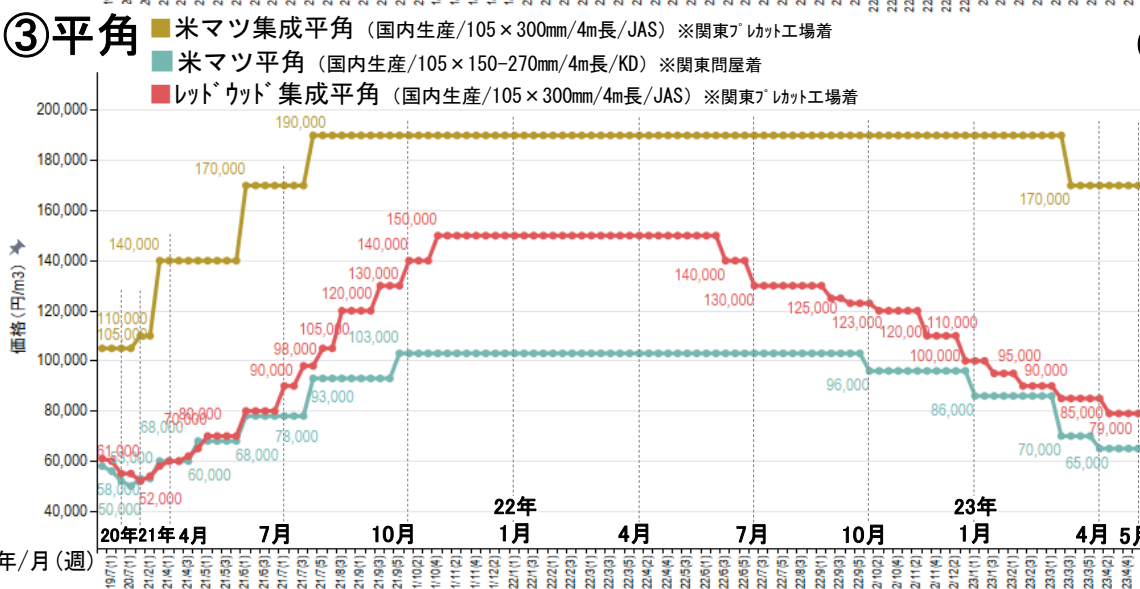
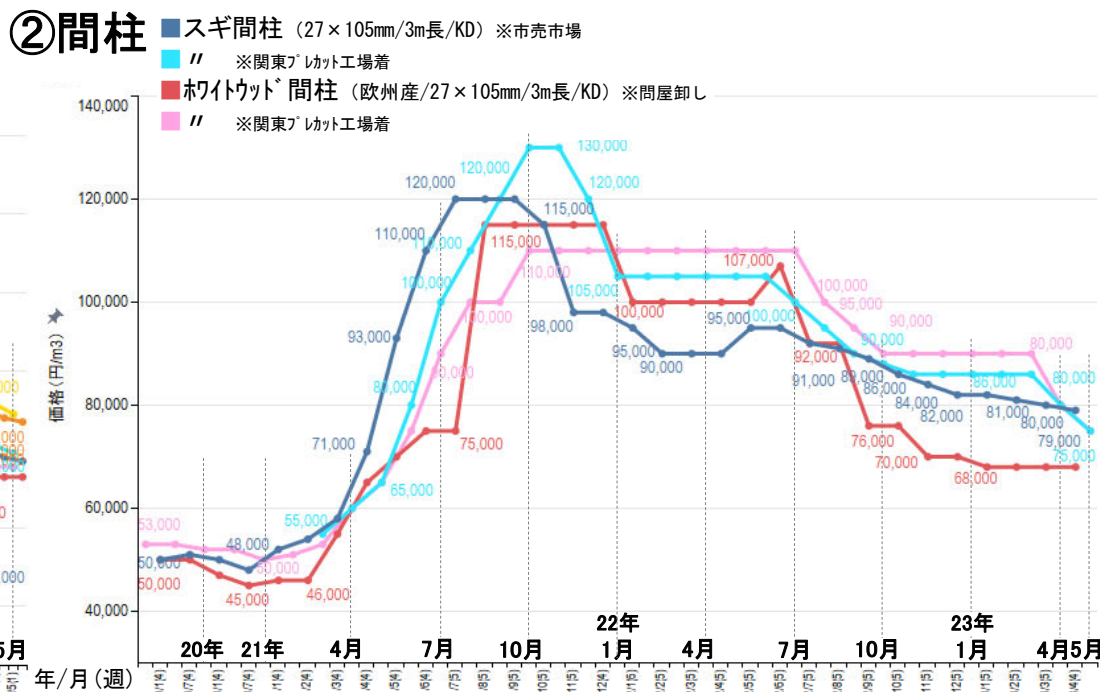
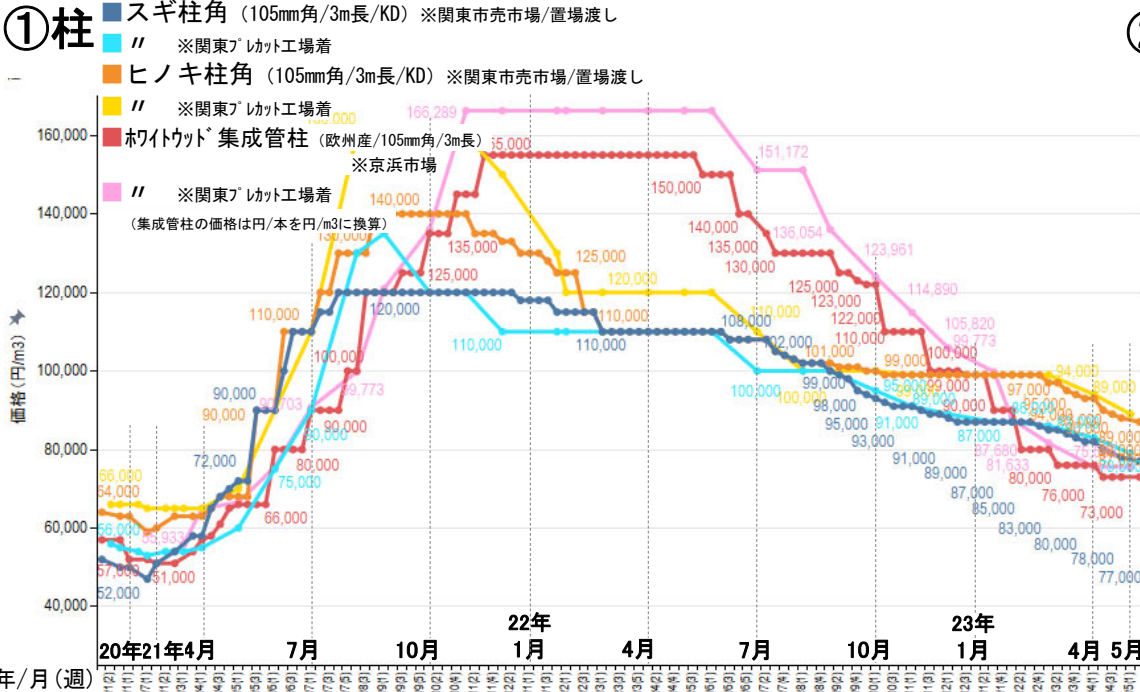
- トドマツ 長 3.65m
径 24～28cm
品等 込 (人工林材)
- カラマツ 長 3.65m
径 20～28cm
品等 込
- スギ 長 3.65m
径 24～28cm
品等 込

(単位: 円/m³)

樹種	2023年 3月	前年 同期	前年 同期比
トドマツ	14,000	13,000	108%
カラマツ	13,500	12,300	110%
スギ	9,700	9,700	100%

(2) 製品価格

- 令和3年(2021年)は、世界的な木材需要の高まり等により輸入材製品価格が高騰し、代替需要により国産材製品価格も上昇。令和4年(2022年)以降も、以前に比べて高値圏で推移。

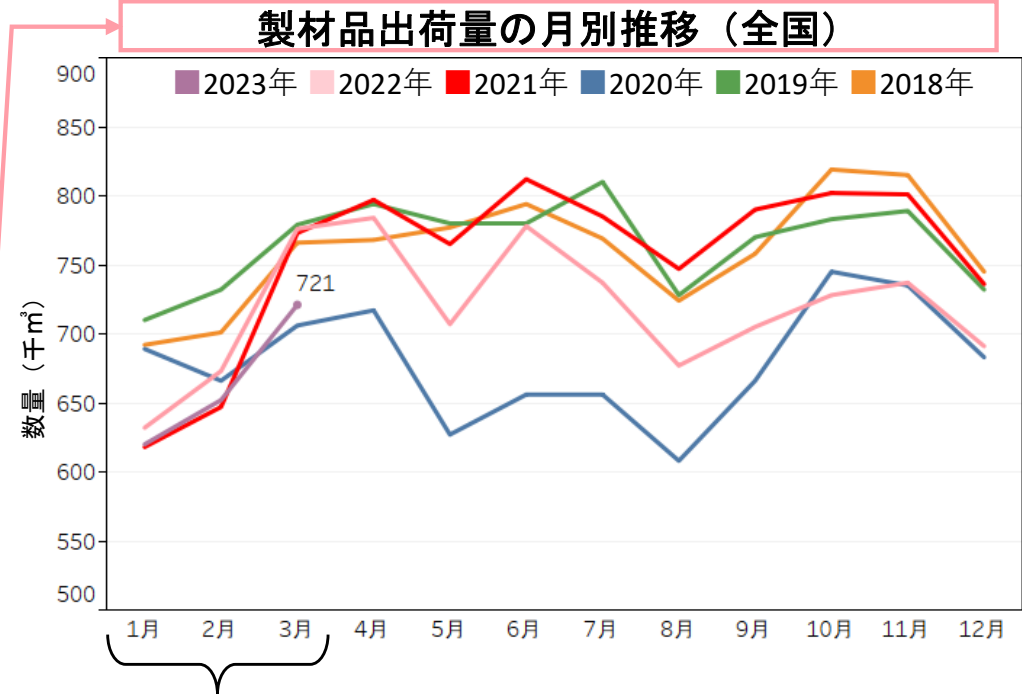
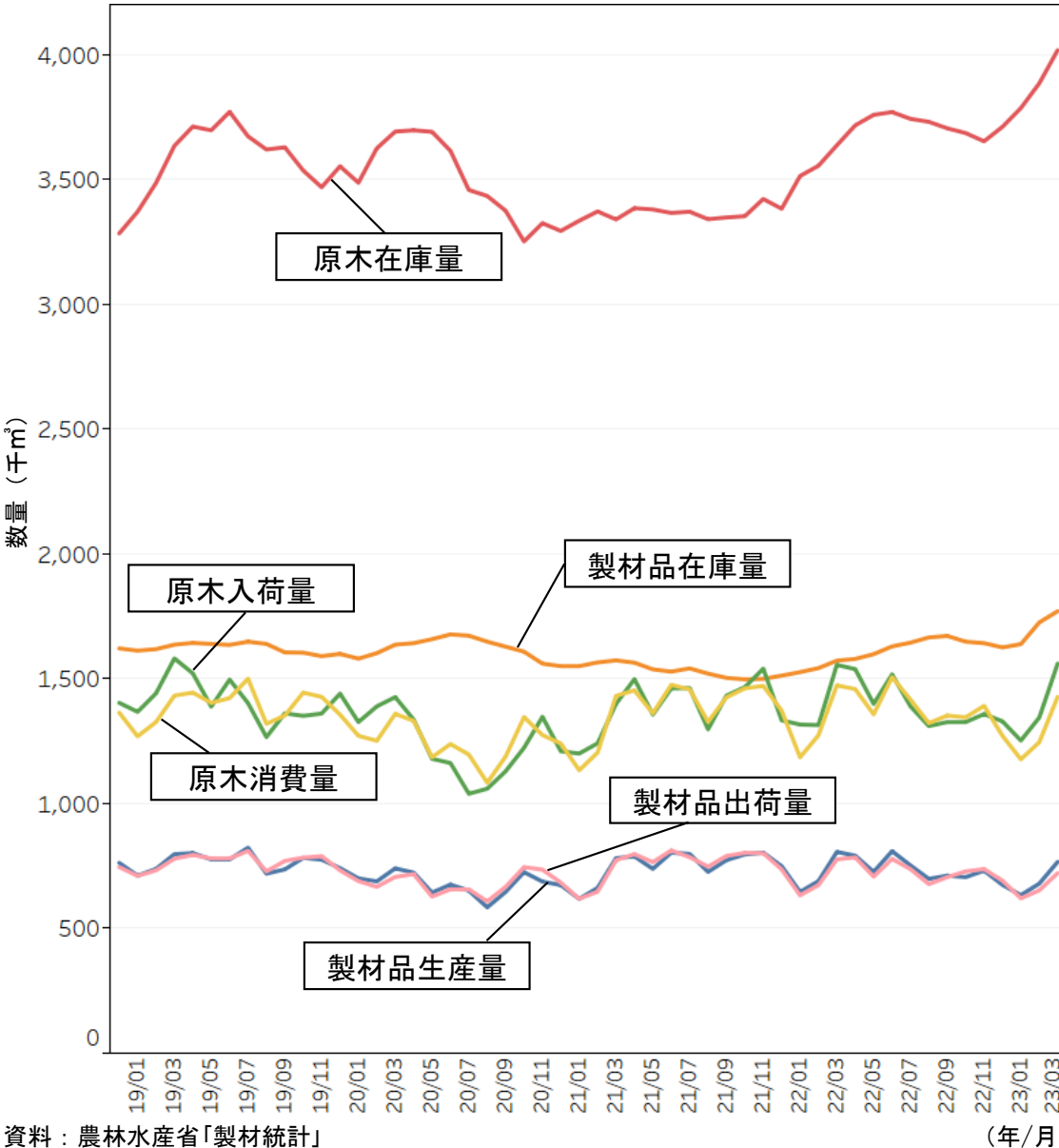


資料：①③④木材建材ウイクリー、①②日刊木材新聞

2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材 (全国)

- 2023年1～3月の原木の入荷量は4,156千m³ (2019年比95%)。
- 同様に製材品の出荷量は1,993千m³ (2019年比90%)。

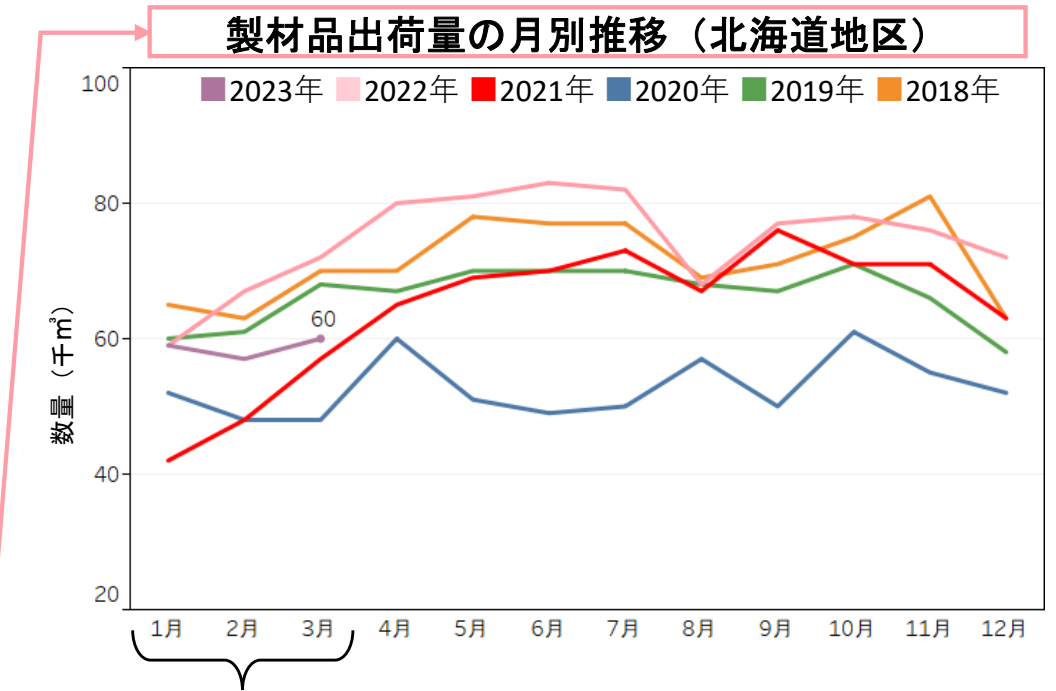
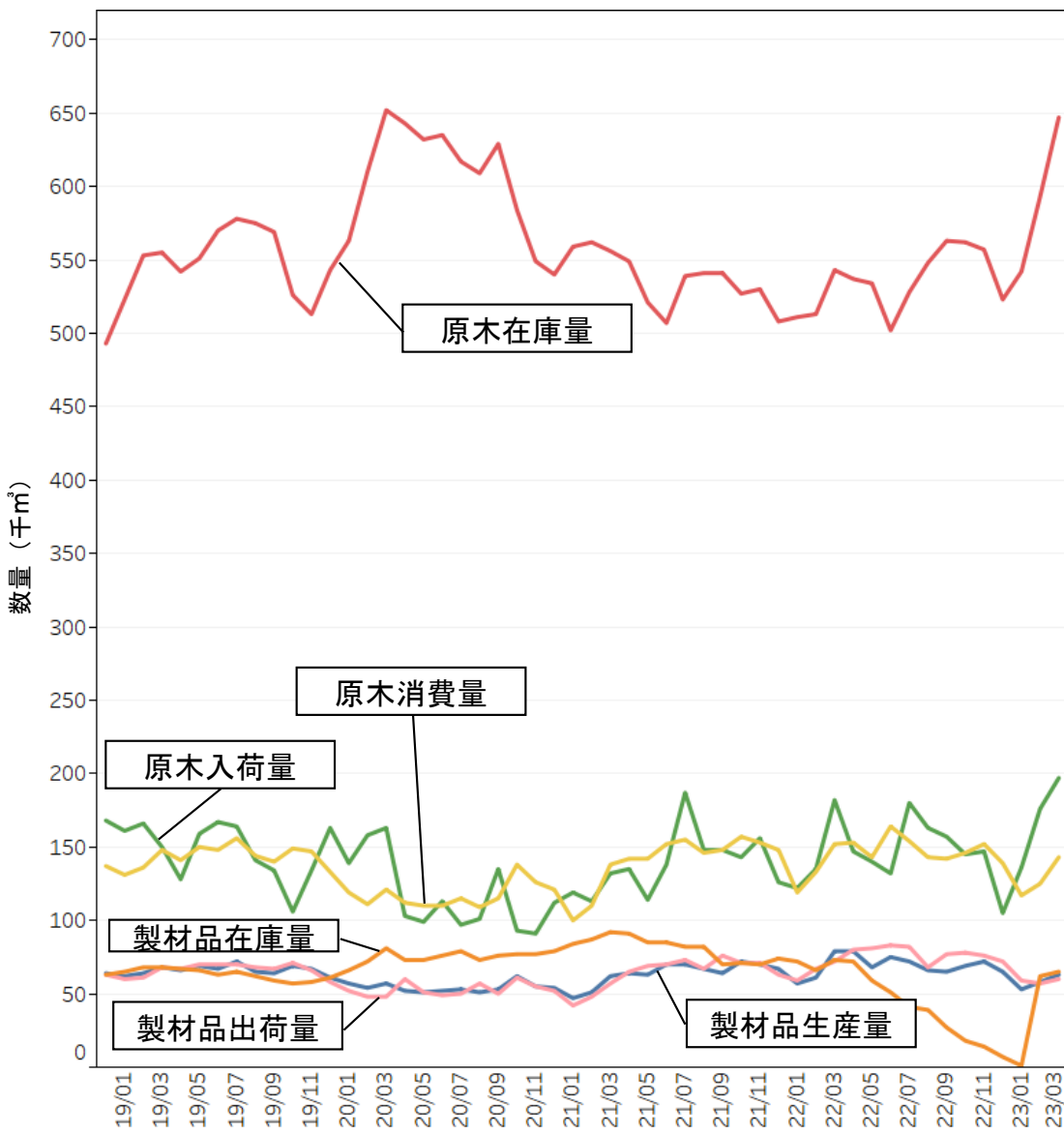


	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1～3月原木入荷量合計(千m ³)	4,172	4,389	4,141	3,840	4,185	4,156
2019年との比較*	95%	—	94%	87%	95%	95%
1～3月製材品出荷量合計(千m ³)	2,159	2,221	2,061	2,038	2,081	1,993
2019年との比較*	97%	—	93%	92%	94%	90%

※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

(1) 製材 (北海道地区)

- 2023年1～3月の原木の入荷量は509千m³ (2019年比107%)。
- 同様に製材品の出荷量は176千m³ (2019年比93%)。



	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1～3月原木入荷量合計(千m ³)	467	477	460	364	439	509
2019年との比較*	98%	—	96%	76%	92%	107%
1～3月製材品出荷量合計(千m ³)	198	189	148	147	198	176
2019年との比較*	105%	—	78%	78%	105%	93%

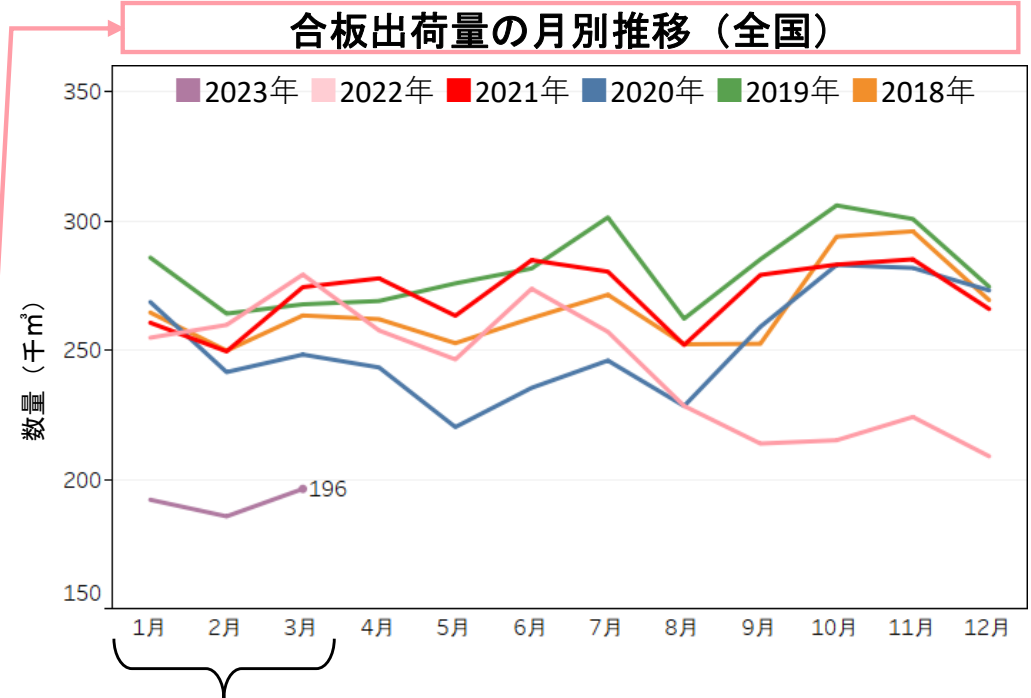
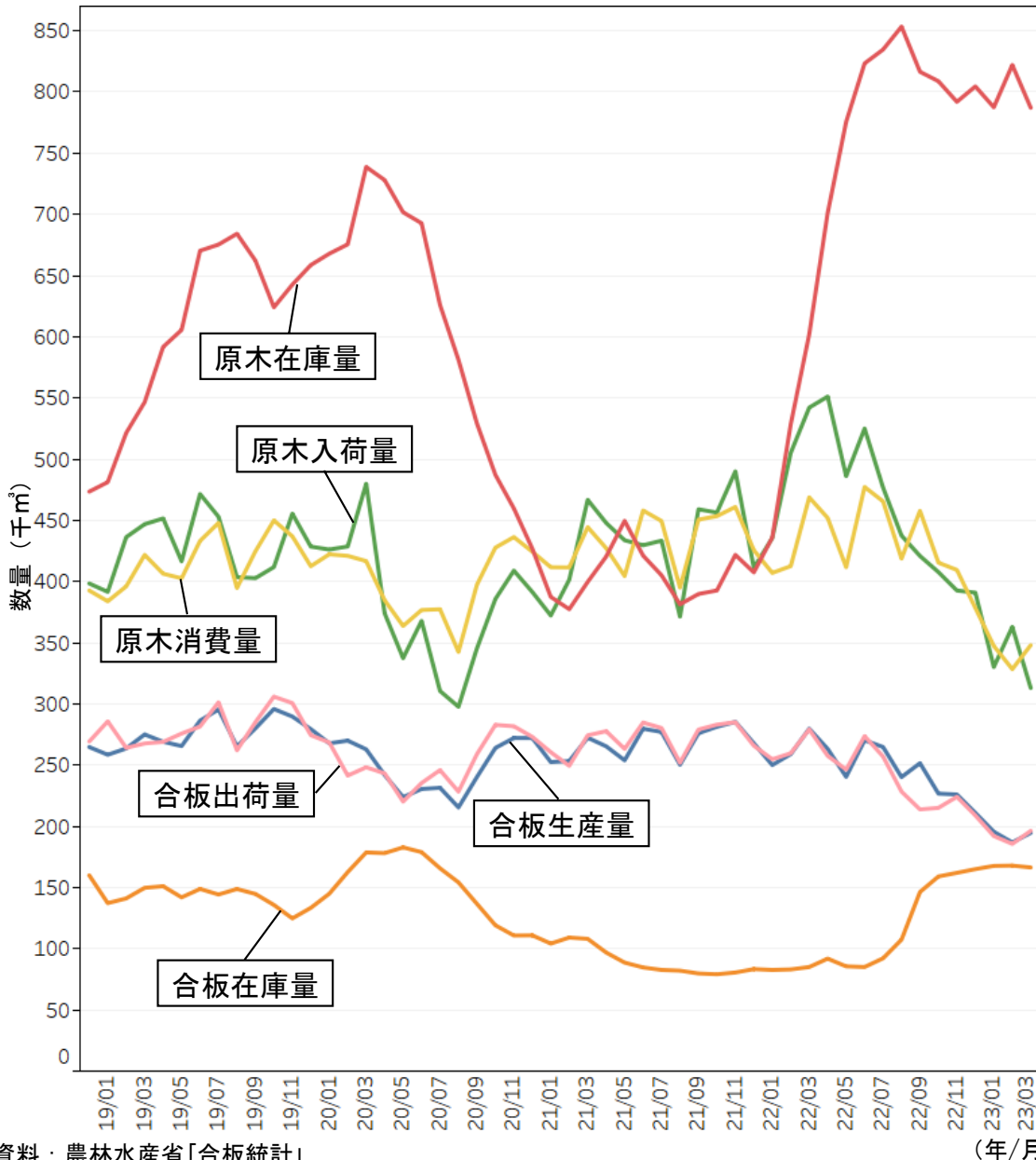
※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

資料：農林水産省「製材統計」

(年/月)

(2) 合板 (全国)

- 2023年1～3月の原木の入荷量は1,006千 m^3 (2019年比79%)。
- 同様に合板の出荷量は574千 m^3 (2019年比70%)。

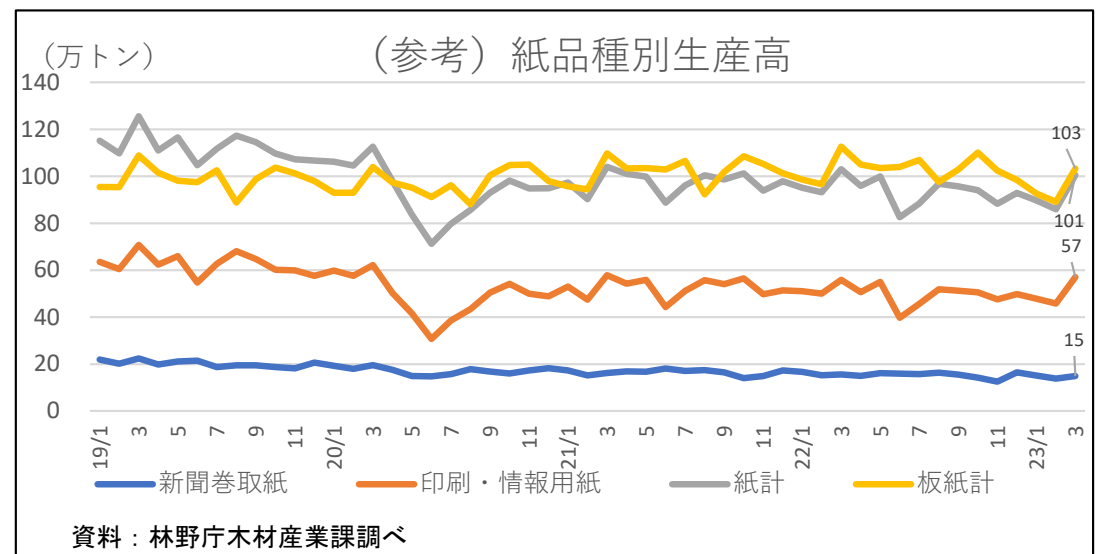
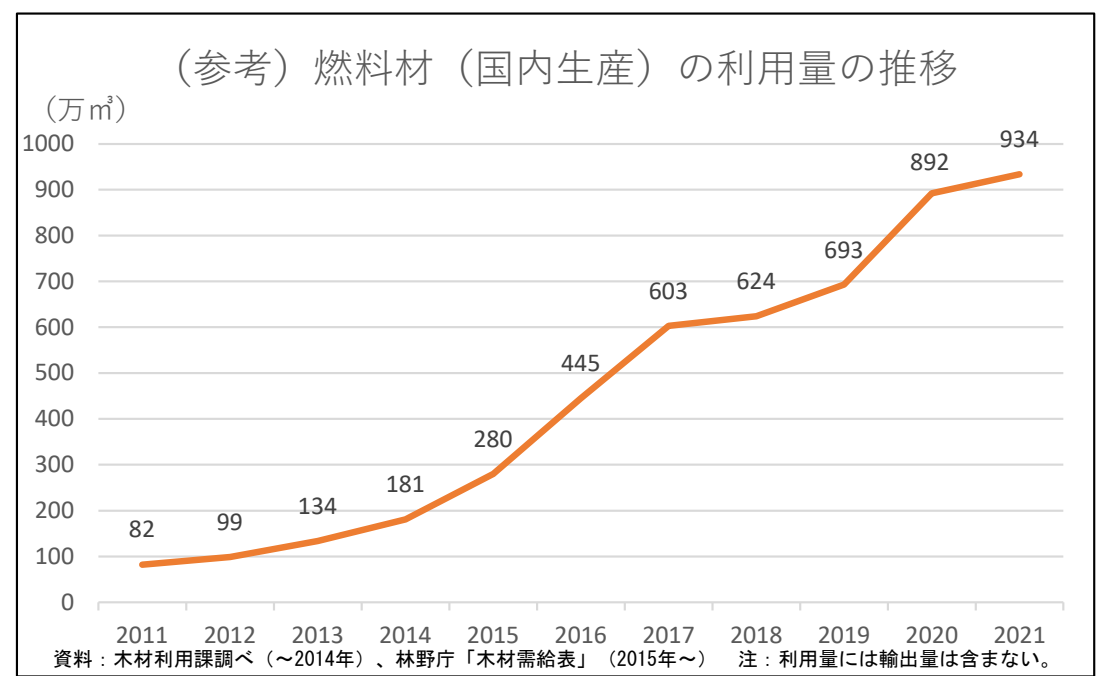
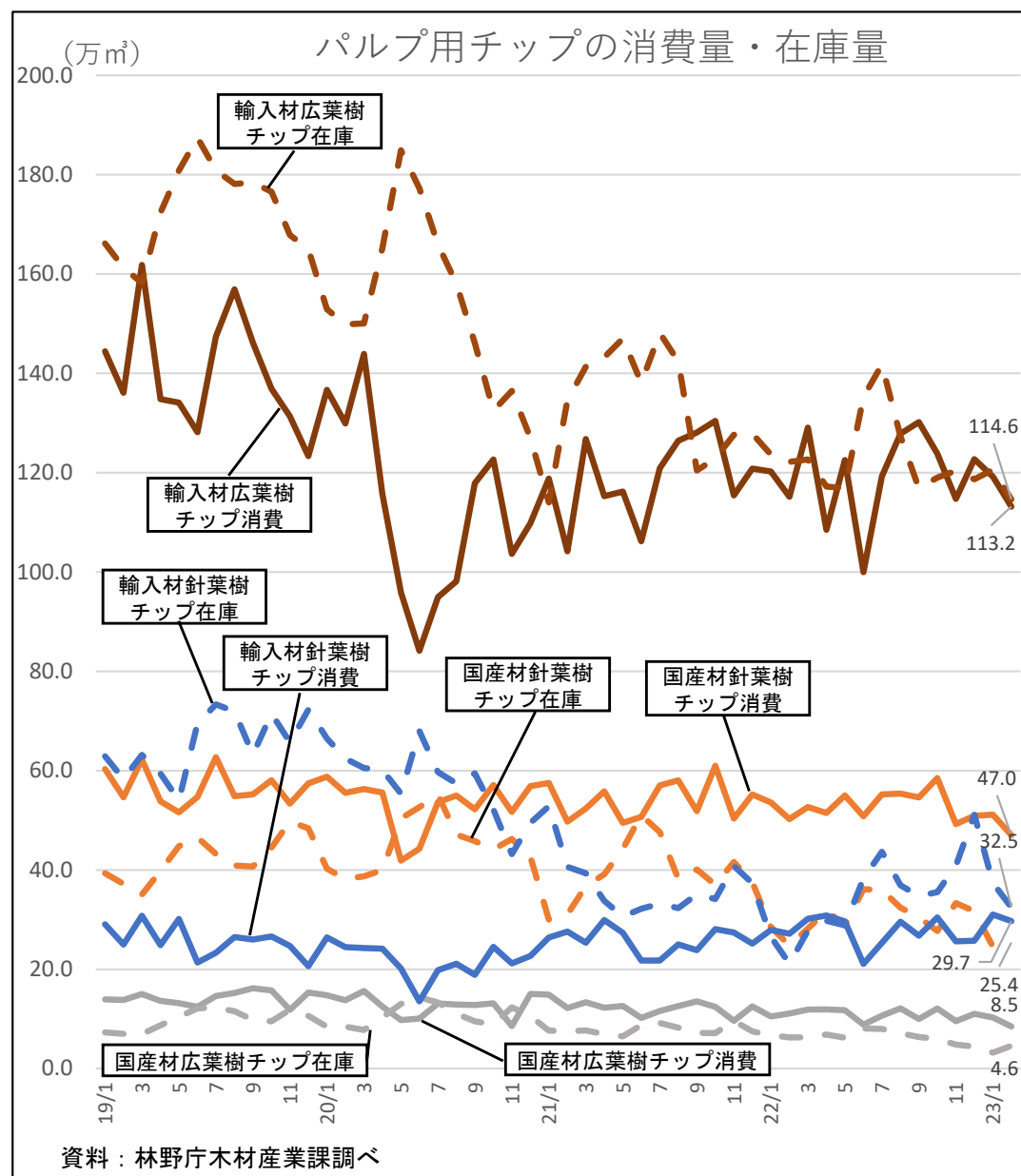


	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1～3月原木入荷量合計(千 m^3)	1,223	1,275	1,335	1,241	1,483	1,006
2019年との比較*	96%	—	105%	97%	116%	79%
1～3月合板出荷量合計(千 m^3)	778	818	758	784	794	574
2019年との比較*	95%	—	93%	96%	97%	70%

※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

(3) チップ (全国)

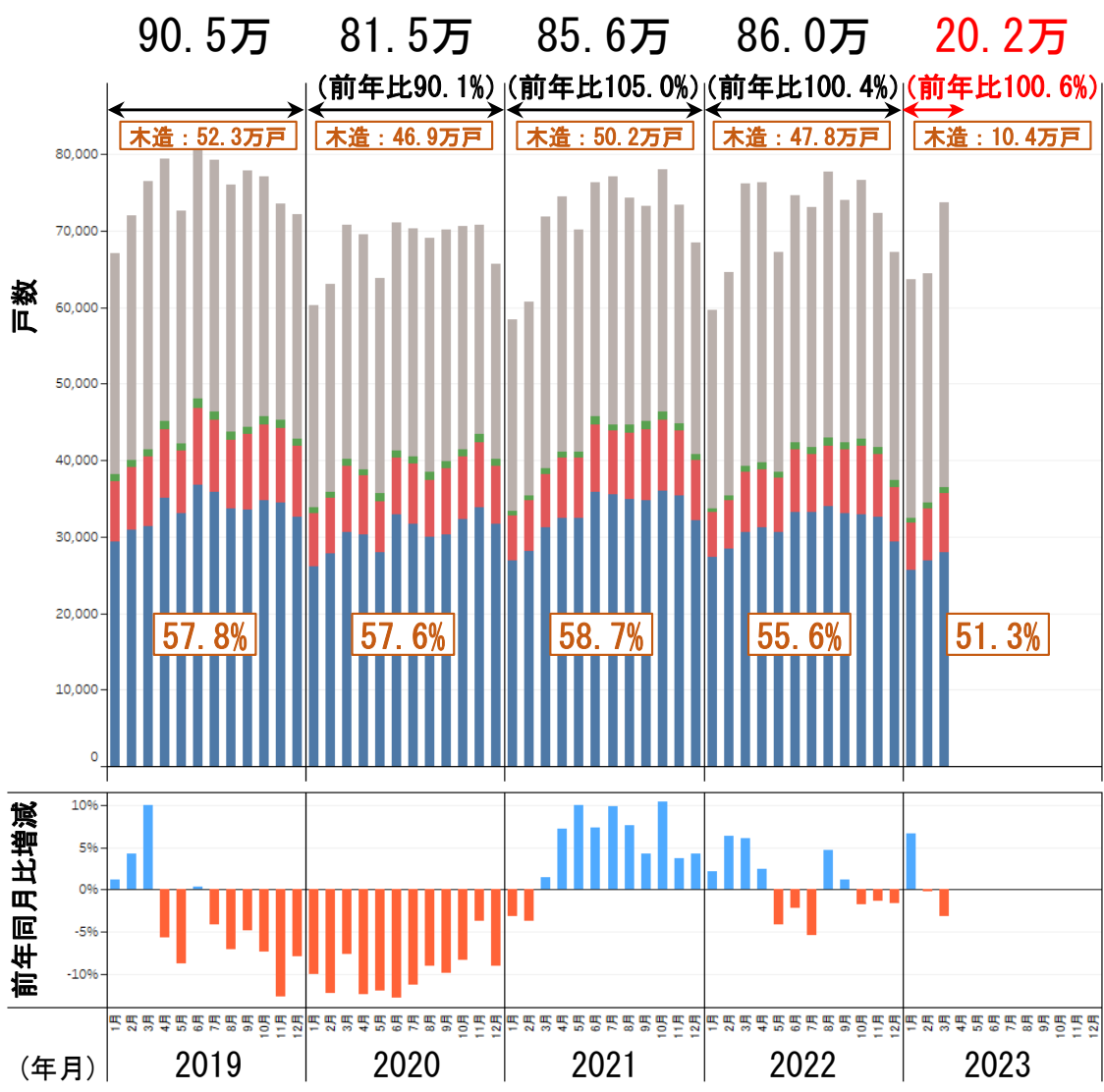
- パルプ用チップの消費について、2023年2月の輸入材広葉樹チップの消費量は113.2万 m^3 。国産材針葉樹チップの消費量は47.0万 m^3 となっている。
- 燃料材（国内生産）の利用量は、発電利用を中心に増加（過去10年間で約11倍）。



3 住宅着工戸数の動向 (1) 全国の住宅着工戸数 (2019年1月～2023年3月)

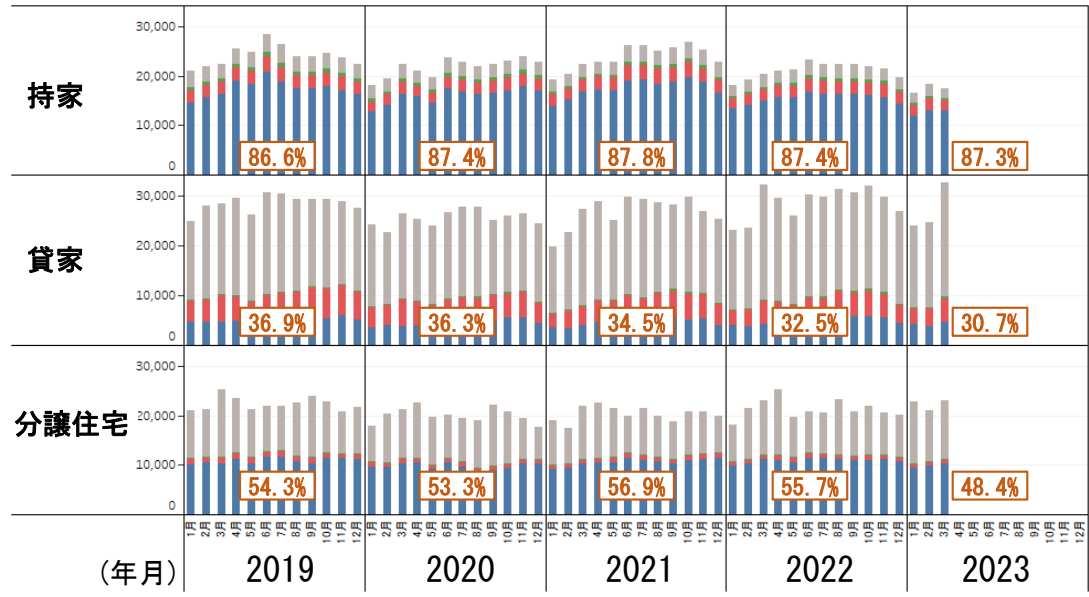
- 2022年の新設住宅着工戸数は、86.0万戸（前年比100.4%）、このうち木造住宅は47.8万戸（同95.1%）となり、2021年の水準を下回った。
- 2023年1～3月の新設住宅着工戸数は、20.2万戸（前年同期比100.6%）、このうち木造住宅は10.4万戸（同95.6%）。

新設住宅着工戸数の推移



構造別の着工戸数	2023年 1～3月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	201,723	200,424	100.6%	190,999	105.6%
■非木造	98,193	92,078	106.6%	83,143	118.1%
木造	103,530	108,346	95.6%	107,856	96.0%
■木造プレハブ	2,344	2,043	114.7%	2,169	108.1%
■2×4	20,592	19,969	103.1%	19,537	105.4%
■在来軸組	80,594	86,334	93.4%	86,150	93.6%
□木造率	51.3%	54.1%		56.6%	

(参考) 利用関係別の着工戸数 (ただし、「給与住宅」を除く。)

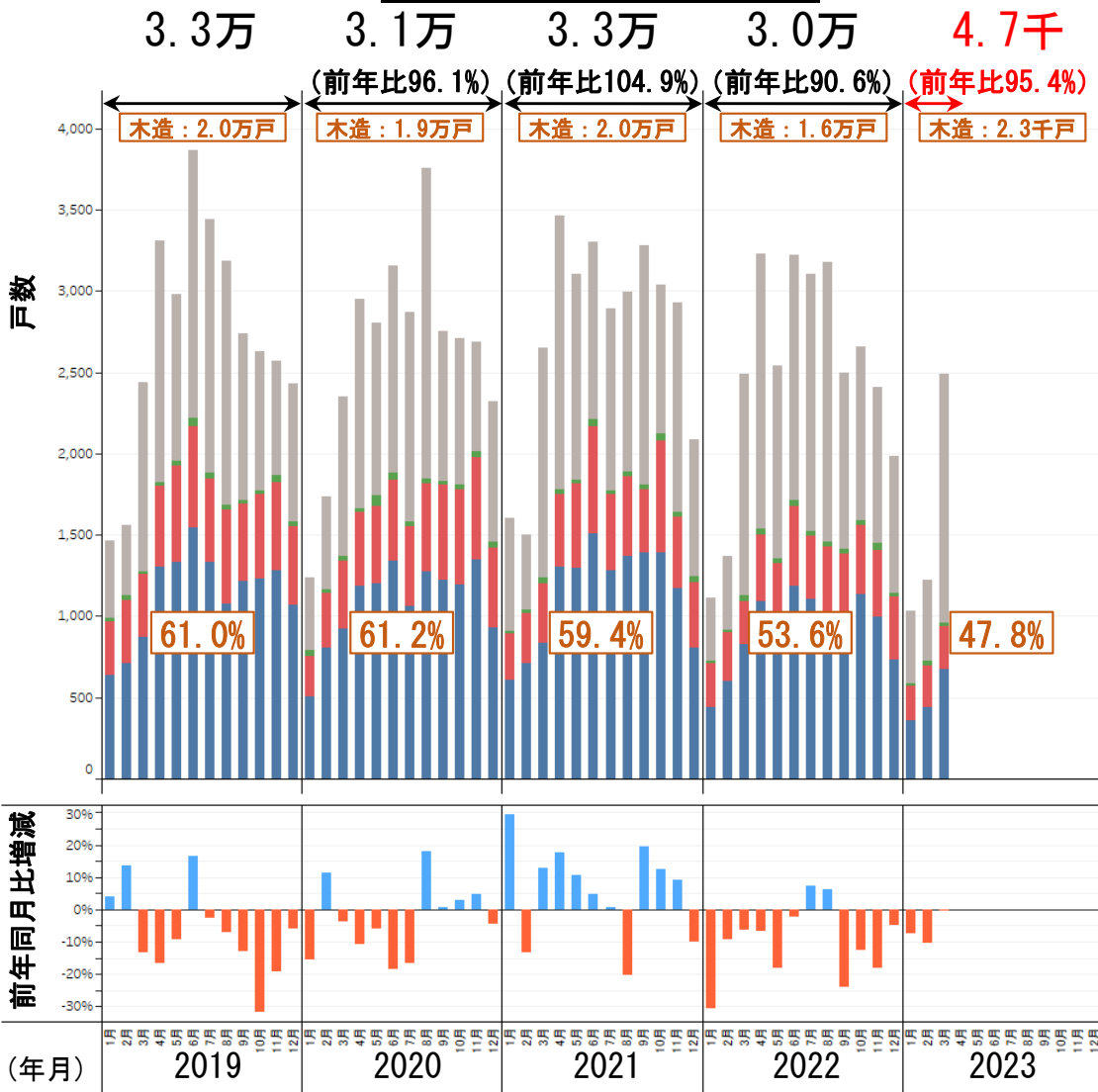


資料：国土交通省「住宅着工統計」

(2) 北海道地区の住宅着工戸数 (2019年1月～2023年3月)

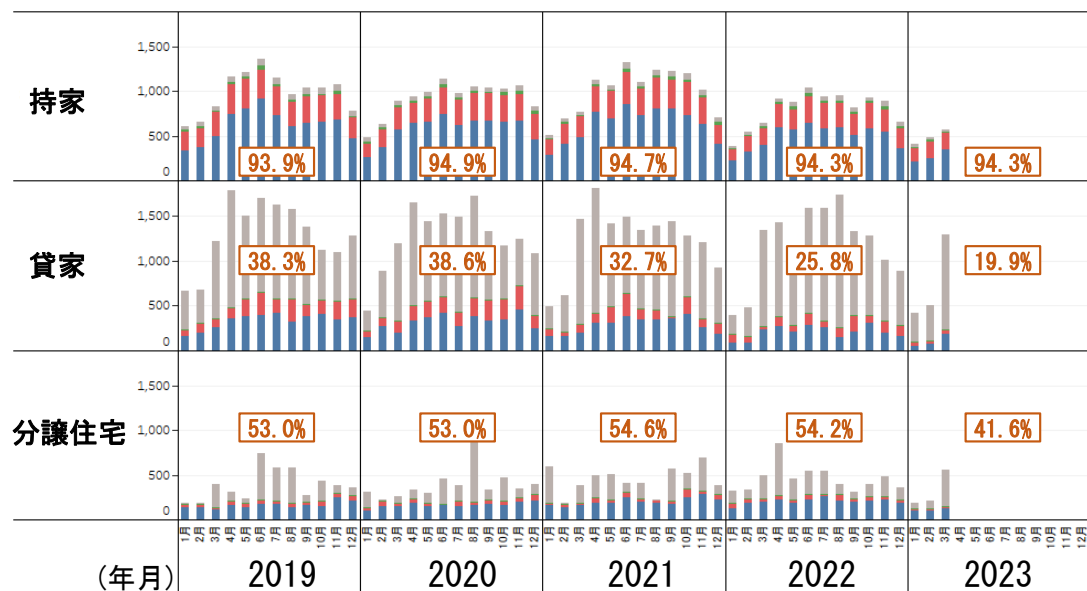
- 2022年の新設住宅着工戸数は、3.0万戸（前年比90.6%）、このうち木造住宅は1.6万戸（同81.8%）。
- 2023年1～3月の新設住宅着工戸数は、4.7千戸（前年同期比95.4%）、このうち木造住宅は2.3千戸（同81.9%）。

新設住宅着工戸数の推移



構造別の着工戸数	2023年 1～3月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	4,748	4,976	95.4%	5,765	82.4%
■非木造	2,478	2,203	112.5%	2,571	96.4%
木造	2,270	2,773	81.9%	3,194	71.1%
■木造プレハブ	62	66	93.9%	84	73.8%
■2×4	739	842	87.8%	956	77.3%
■在来軸組	1,469	1,865	78.8%	2,154	68.2%
□木造率	47.8%	55.7%		55.4%	

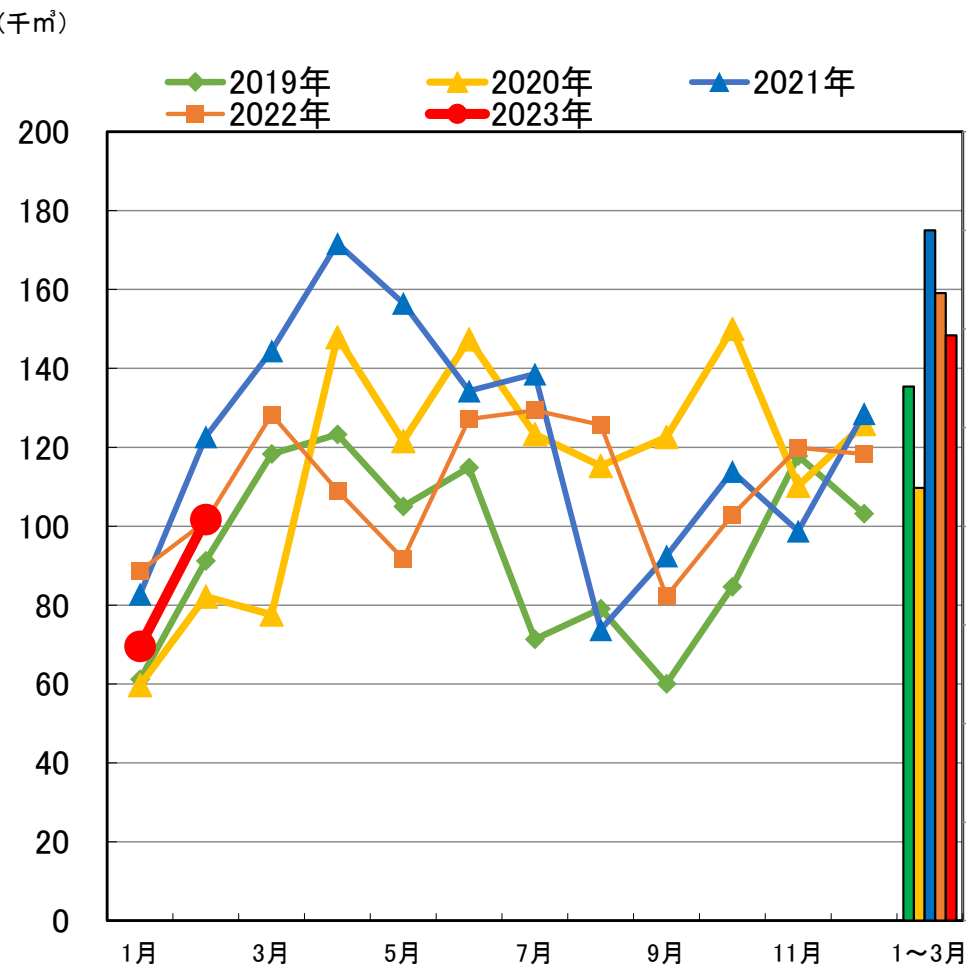
(参考) 利用関係別の着工戸数 (ただし、「給与住宅」を除く。)



4 木材輸出量

・ 令和5年3月の輸出量は丸太125千 m^3 （前年同月比98%）、製材12千 m^3 （前年同月比66%）、合板12千 m^3 （前年同月比99%）となった。

○丸太輸出量の推移（月別）



○木材輸出量の状況（累計：主な国別・品目別）

輸出先	単月 3月			累計 1~3月		
	主要品目内訳(千 m^3) 前年比(%)			主要品目内訳(千 m^3) 前年比(%)		
	丸太	製材	合板	丸太	製材	合板
中国	112 105%	6 109%	0 85%	252 96%	12 69%	1 40%
韓国	6 55%	1 84%	0 25%	25 88%	2 72%	0 19%
台湾	7 65%	2 105%	0 —	19 72%	4 98%	0 —
米国	0 —	3 74%	0 0%	0 —	8 59%	0 7%
フィリピン	0 —	1 12%	12 99%	0 —	2 13%	28 90%
総計	125 98%	12 66%	12 99%	297 93%	28 52%	29 86%

○税関ごとの丸太輸出量

税関名	管轄※	合計(千 m^3) 1~3月	比率 1~3月
函館税関	北海道,青森,岩手,秋田	33.8	11.4%
東京税関	山形,群馬,埼玉,千葉,東京,新潟,山梨	1.1	0.4%
横浜税関	宮城,福島,茨城,栃木,千葉,神奈川	2.9	1.0%
名古屋税関	長野,岐阜,静岡,愛知,三重	1.2	0.4%
神戸税関	兵庫,鳥取,島根,岡山,広島,徳島,香川,愛媛,高知	3.0	1.0%
大阪税関	大阪,京都,和歌山,奈良,滋賀,福井,石川,富山	3.1	1.0%
門司税関	山口,福岡,佐賀,長崎,大分,宮崎	78.6	26.5%
長崎税関	福岡,佐賀,長崎,熊本,鹿児島	173.1	58.3%
沖縄地区税関	沖縄	0.0	0.0%

資料：財務省易統計
 ※貿易統計の第4403, 4407, 4412の一部類を集計
 ※四捨五入により、数値が合わないことがある

※木材の集荷範囲とは対応していない